

令和3年度

全国学力・学習状況調査の分析と考察

(令和3年12月)



松本市教育委員会
松本市校長会学力調査検討委員会

令和3年度

全国学力・学習状況調査の松本市における結果〔概要〕

調査概要

- ◇調査対象：小学校第6学年、中学校第3学年
- ◇調査実施日：令和3年5月27日（木曜日）
- ◇調査内容：① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童質問紙、生徒質問紙）
- ◇今年度調査の特徴：「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報が盛り込まれている。

教科に関する調査結果概要

- ◇平均正答率：小学校国語、算数において、全国（公立）の平均正答率とほぼ同程度、中学校国語、数学において、全国（公立）の平均正答率よりやや高い状況。
- ◇領域別状況：学習指導要領の領域等の平均正答率の状況は、すべての教科で全国とほぼ同程度。特に小学校国語「書くこと」、小学校算数「数と計算」、中学校国語「言語文化と国語の特質に関する事項」、中学校数学「資料の活用」では、正答率が比較的高い傾向にある。
- ◇正答数分布：小学校算数、中学校数学において、全問題数のうち9割を超える正答があった生徒の割合が全国と比べてやや高い状況。
- ◇問題形式：問題の形式は、選択式、短答式、記述式の3種類。記述式では、自分の考えやその理由を書いたり、方法を説明したりする問題が出題。小学校算数、中学校国語、中学校数学では、正答率が全国を大きく上回る問題も見られた。

- 各教科の「課題及び指導改善に向けて」では、特に課題と思われる問題を取り上げ、「課題が見られた問題について」「指導の改善・充実に向けて」の項目で、問題の趣旨や解答状況、誤答につながった要因、授業改善の具体的な方向を示しました。
- * 表記については、長野県や全国の平均正答率、「知識・技能」「思考・判断・表現」に関わる内容等も参考にしながら、平均正答率7～8割程度を目安に「定着している」、「身に付いている」、5～6割程度を目安に「課題がある」としました。
- 生活習慣等に関する質問紙調査については、全体的な傾向や主な特徴等をまとめました。全国との比較を示す数値については、その差を「ポイント」という表現を使っています。（例：全国が30%、松本市40%の場合、松本市は全国を「10ポイント上回る」と表現しています）
- 本調査は、国語、算数・数学の教科のみであるため、学習指導要領全体を網羅しているものではありません。また、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることにご留意ください。

問い合わせ先

【部署名】 松本市教育委員会 学校教育課 学校支援センター
【連絡先】 電話：0263-33-4397 FAX：0263-34-3206

1 教科に関する調査結果

1(1) 小学校国語

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約8割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、**思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができている。**

① **文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けて読むこと**に関しては、かなり課題があるが、**全国とほぼ同程度**である。

調査問題 2 三 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける問題 <課題及び指導改善に向けて1 参照>

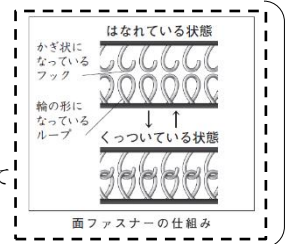
11頁

読むこと

相川さんは、【資料】の——部を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>

- ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
- 【資料】の中の文章と [] の「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。



(正答例)

メストラルは、ゴボウの実が犬の毛にからみついていたことをヒントに、かぎ状のフックが輪の形をしたループに引っかかることでくっつく仕組みの面ファスナーを作り出した。

② **目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること**に関しては、かなり課題があるが、**全国とほぼ同程度**である。

調査問題 2 四 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する問題 <課題及び指導改善に向けて2 参照>

12頁

読むこと

相川さんは、【資料】を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>

- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中で使われ方について書くこと。
- 【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

(正答例)

面ファスナーはしっかりとくっつきかん単にはがせることから、物がうかぶ国際うちゅうステーションの中で、身の回りの全ての物の固定に使われている。

③ **文の構成を理解すること**に関しては、課題があるが、**全国とほぼ同程度**である。

調査問題 3 三(2)オ 文の中にある修飾と被修飾語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題 <課題及び指導改善に向けて3 参照>

12頁

言葉の特徴や使い方に関する事項

次のオの文について、~~~~部「すぐに」はどの言葉をくわしくしていますか。適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

オ その他にも、遊び終わったら~~~~に遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう。

- 1 遊び終わったら
- 2 遊具を
- 3 かたづける
- 4 むずかしい

(正答)

3

1(2) 中学校国語

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約9割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、話し合いの中での質問の意図を捉えることができている。

① 推敲する場面において、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることに関しては、かなり課題があり、全国と比較してもやや下回っている。

調査問題 2 一 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる問題

13頁

<課題及び指導改善に向けて1 参照>

書く
こと

山田さんは、【意見文の下書き】を読み返して、㊸と㊹のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 ㊸段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- 2 ㊸段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 3 ㊹段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 5 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

(正答)

㊸ A 4、㊹ B 1

② 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに関しては、かなり課題があるが、全国とほぼ同程度である。

調査問題 3 四 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題

14頁

<課題及び指導改善に向けて2 参照>

読む
こと

【紹介】に~~~~線部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているのが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

(正答例)

- ・「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。
- ・「腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならない」と書かれていて、黒に敬意をもって接していることが分かります。相手の悪い面だけでなく、よい面にも目を向けることは大切なことだと思います。
- ・「元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって」と相手を見下すような接し方をしていて、あまりよい気持ちがしない。

③ 相手や場に応じて敬語を適切に使うことに関しては、かなり課題があるが、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 4 三 相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるかどうかをみる問題

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

——線部④「行く」とありますが、「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類を次の1から3までの中から一つ選びなさい。

- 1 尊敬語
- 2 謙譲語
- 3 丁寧語

行く (正答例) 伺う

敬語の種類 (正答) 2

1(3) 小学校算数

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約6割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、**棒グラフから、数量を読み取ることができている。**

① **速さを求める除法の式と商の意味を理解することに関しては、課題があるが、全国と比較するとやや上回っている。**

調査問題 1(3) 速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかどうかをみる問題

変化と関係

次の表は、インターネットで調べた道のりと時間と、たけるさんたちが歩いた道のりと時間を表しています。

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

㊦ インターネット $1600 \div 20 = 80$

㊧ たけるさんたち $500 \div 7 = 71.4 \dots$

上の計算からどのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㊦のほうが速い。
- 2 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㊧のほうが速い。
- 3 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊦のほうが速い。
- 4 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊧のほうが速い。

道のりと時間		
	道のり (m)	時間 (分)
㊦ インターネット	1600	20
㊧ たけるさんたち	500	7

(正答)
1

② **二等辺三角形を組合せた平行四辺形の面積の求め方を記述することに関しては、課題があるが、全国とほぼ同程度である。**

調査問題 2(3) 複数の図形を組合せた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題

15頁

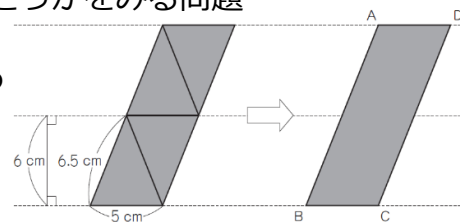
<課題及び指導改善に向けて1 参照>

図形

平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかがわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何 cm^2 になるのかも書きましょう。



【求め方】(例) 辺BCを底辺としたとき、高さは、 $6 \times 2 = 12$ で、12cmです。

平行四辺形A B C Dの面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、 60 cm^2 です。

【平行四辺形A B C Dの面積】 $60 (\text{cm}^2)$

③ **帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することに関しては、おおむね身に付いており、全国と比較するとやや上回っている。**

調査問題 3(4) 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題

16頁

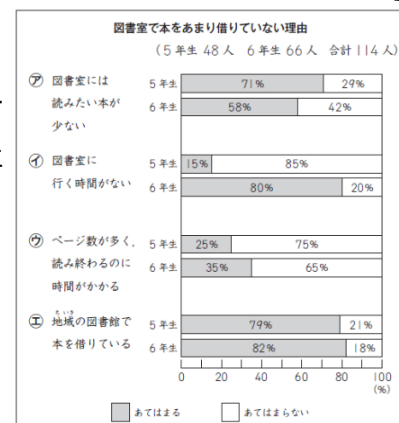
<課題及び指導改善に向けて2 参照>

データの活用

右のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。

項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

(例) 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目は、㊣図書館に行く時間がないです。5年生が15%で、6年生が80%です。



1(4) 中学校数学

＜今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問＞

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約9割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、**与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができている。**

- ① **事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること**に関しては、かなり課題があるが、**全国とほぼ同程度**である。

調査問題 7 (2) 問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題

関数

健斗さんは、2分をはかるために、砂時計に必要な砂の重さを調べます。
そこで、調べた結果のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、砂の重さが増えてもすべての点が同じ直線上にあると考えることにしました。
このとき、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に必要な砂の重さを求める必要はありません。



説明(例) 原点Oを通る直線のグラフをかき、 $y = 120$ のときの x 座標を読む。

- ② **データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること**に関しては、かなり課題があるが、**全国と比較するとやや上回っている。**

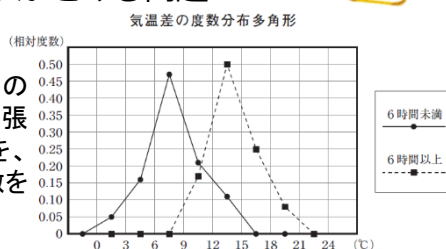
調査問題 8 (3) データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題

17頁

＜課題及び指導改善に向けて1 参照＞

資料の活用

気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。



説明(例) 2つの度数分布多角形が同じような形で、6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある。

- ③ **ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること**に関しては、かなり課題があるが、**全国と比較するとやや上回っている。**

調査問題 9 (3) ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができるかどうかをみる問題

18頁

＜課題及び指導改善に向けて2 参照＞

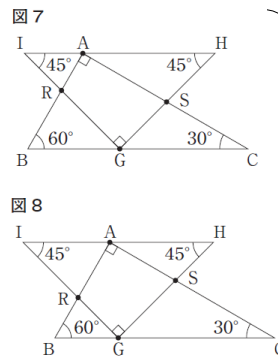
図形

二人は、図7、図8で、四角形ARGSが長方形にならないことから、四角形ARGSがどんな四角形になるか話し合っています。

直輝さん 「GHIを動かすと四角形ARGSの4つの辺の長さはそれぞれ長くなったり短くなったりするよ。角の大きさはどうなるかな。」

由衣さん 「 $\angle RAS$ と $\angle RGS$ の大きさはそれぞれ 90° で変わらないね。 $\angle ARG$ と $\angle ASG$ の大きさはどうかな。」

$\triangle GHI$ を動かしても、四角形ARGSの $\angle ARG$ と $\angle ASG$ の和はいつでも 180° になります。このほかに、 $\angle ARG$ 、 $\angle ASG$ の大きさについて、いつでもいえることを書きなさい。



(例) $\angle ARG$ 、 $\angle ASG$ のそれぞれの大きさは変わらない。

2 児童・生徒質問紙調査結果

2(1) 国語と算数・数学に関する児童生徒の興味関心

<令和元年度と令和3年度の数値から>

- ・小学校国語及び算数の「～の勉強は大切だ」「～の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした割合は、特に算数で増加しているが、「～の勉強が好き」「～の授業の内容はよく分かる」との質問に肯定的な回答をした割合は、特に国語で減少している。
- ・中学校国語及び数学の「～の勉強が好き」「～の勉強は大切だ」「～の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」との質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、特に数学で増加しているが、「～の授業の内容はよく分かる」との質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、特に国語で減少している。
- ・4 つすべての質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、特に算数・数学で増加している。

【凡例】

上段▶[小学校質問紙調査にかかわる回答集計]
回答率(0%.....100%)
下段▶[中学校質問紙調査にかかわる回答集計]

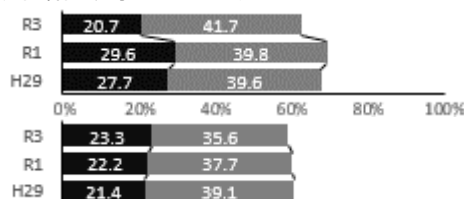
選択肢

■ 当てはまる

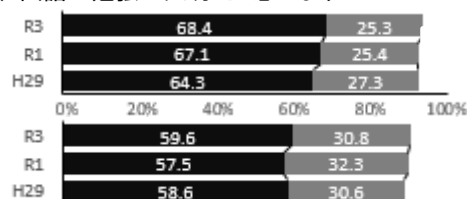
■ どちらかといえば、当てはまる

※平成30年度は、国語の項目は調査していない

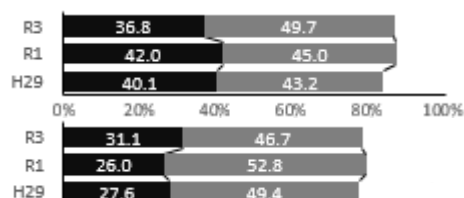
◇ 国語の勉強は好きですか



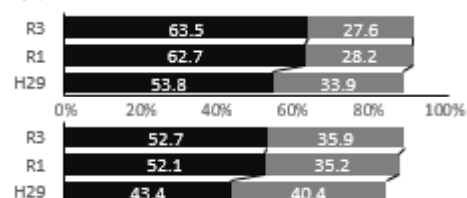
◇ 国語の勉強は大切だと思いますか



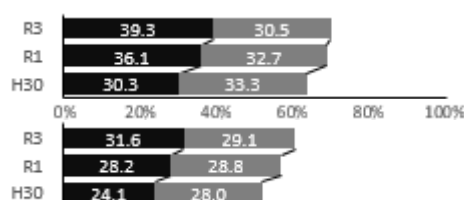
◇ 国語の授業の内容はよく分かりますか



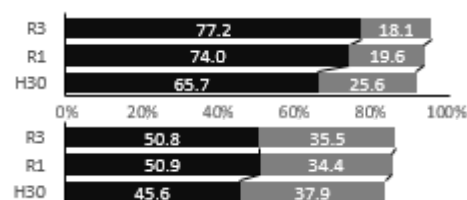
◇ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



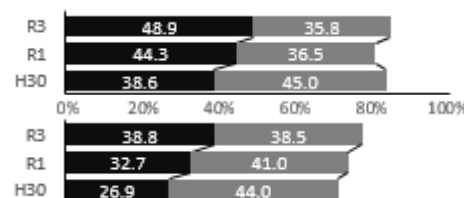
◇ 算数・数学の勉強は好きですか



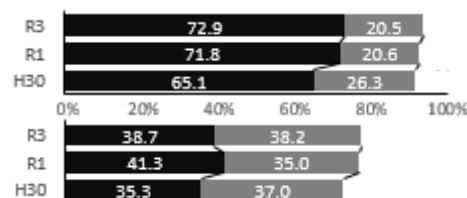
◇ 算数・数学の勉強は大切だと思いますか



◇ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



◇ 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



2(2) 英語に関する児童生徒の興味関心

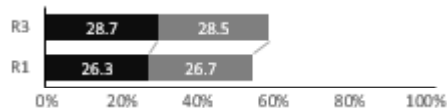
- ・「英語の勉強は好きですか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした割合は、児童で約 65%、生徒で約 55%であった。
- ・「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか」との質問に肯定的な回答をした割合は、児童で約 75%、生徒で約 70%であった。

◇ 英語の勉強は好きですか

【小学校】



【中学校】



【凡例】

選択肢

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる

◇ 英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか

【小学校】



【中学校】



2(3) 臨時休校中の学習や生活、勉強への不安等について

- ・臨時休業期間中、「勉強について不安を感じたか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした割合は、児童で約 60%、生徒で約 65%であった。
- ・臨時休業期間中、「計画的に学習を続けることができたか」との質問に肯定的な回答をした割合は、児童で約 65%、生徒で約 40%となっており、児童生徒の間で回答に差が見られた。
- ・臨時休業期間中、「規則正しい生活を送っていたか」との質問に肯定的な回答をした割合は、児童で約 65%、生徒で約 55%となっている。
- ・臨時休業期間中、「課題で分からないことがあったとき、どのようにしていたか」との質問について、児童は「家族に聞いた」との回答が最も多く（約 65%）、生徒は「自分で調べた」との回答が最も多かった（約 65%）。

去年（令和2年）の4～5月ごろ（新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた時期）のことについて

◇ 勉強について不安を感じましたか

【小学校】



【中学校】



【凡例】

選択肢

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる

◇ 計画的に学習を続けることができましたか

【小学校】



【中学校】



◇ 規則正しい生活を送っていましたか

【小学校】

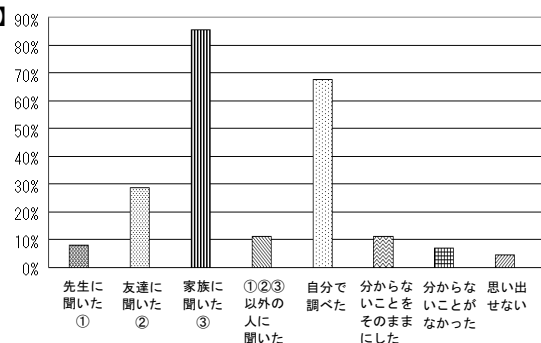


【中学校】

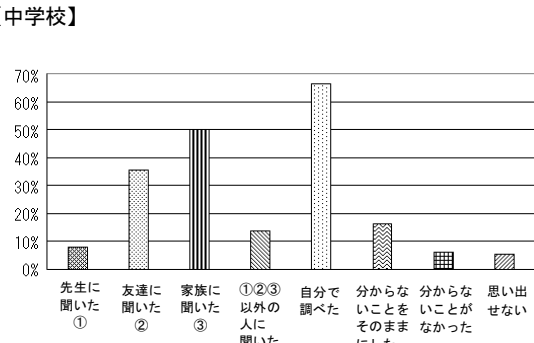


◇ 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか

【小学校】



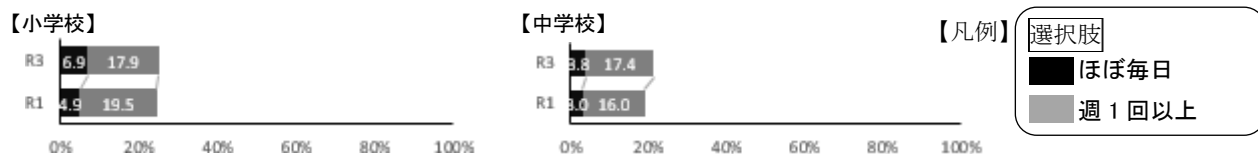
【中学校】



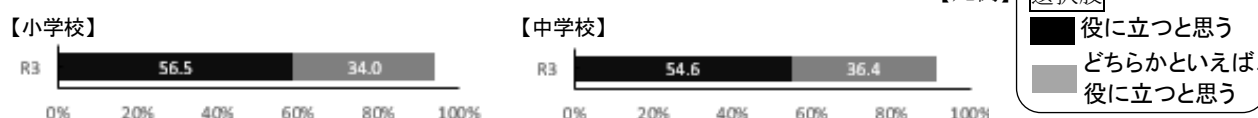
2(4) ICTを活用した学習状況

- ・「授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」との質問に「ほぼ毎日」「週1回以上」と回答した割合は、児童で約25%、生徒で約20%であった。
- ・「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」との質問に「役に立つ」「どちらかといえば、役に立つ」と回答した児童生徒の割合は90%を超えており、高い割合となっている。

◇ (小学5年生・中学1・2年生)までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか



◇ 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

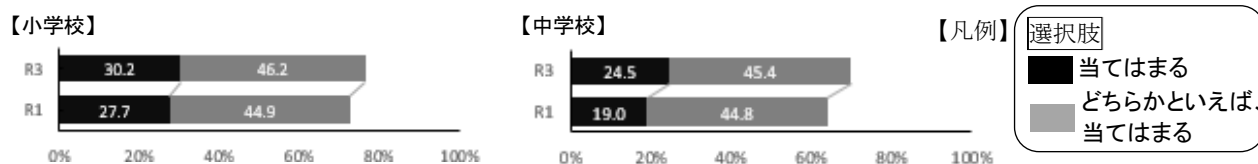


2(5) 特別活動・道徳における状況

<令和元年度と令和3年度の数値から>

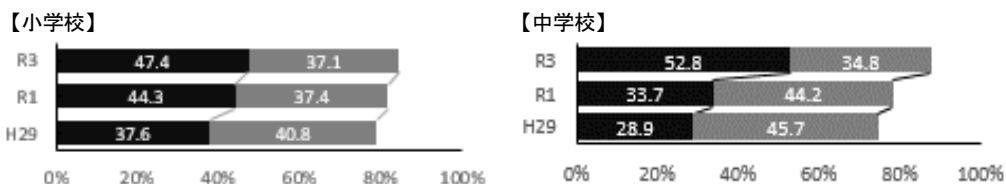
- ・「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」との質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、増加している。

◇ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか



◇ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか

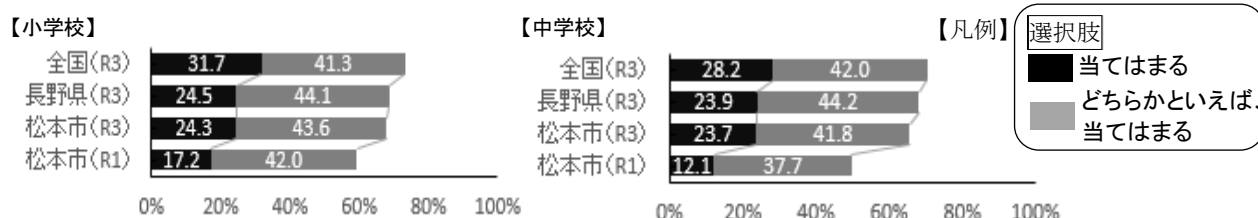
※平成30年度は、道徳の項目は調査していない



2(6) 総合的な学習の時間における状況

- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」との質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、児童で約70%、生徒で約65%であり、令和元年度と比べると増加しているが、全国・長野県と比べるとやや少ない。特に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べて5~7ポイント程度開きがある。

◇ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



2(7) 自己肯定感等に関する状況

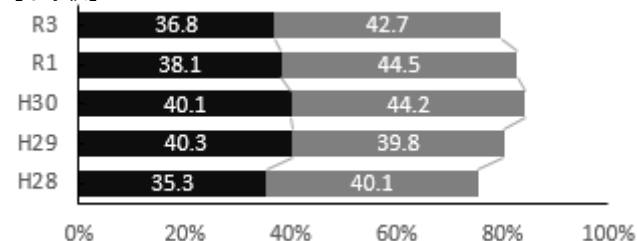
<令和元年度と令和3年度の数値から>

- ・「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした割合は、児童で約80%、生徒で約70%であり、特に児童で減少している。
- ・「自分でやると決めたことは、やり遂げるようとしていますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、約85%であった。
- ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」との質問に肯定的な回答をした割合は、児童で約75%、生徒で約70%であり、特に生徒で増加している。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、約80%であり、特に児童で増加している。

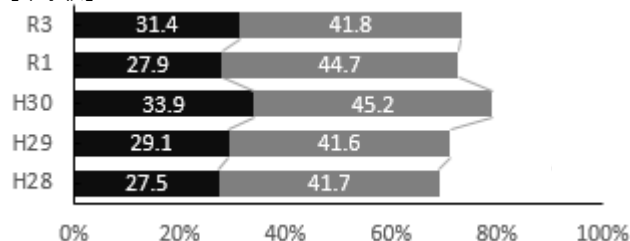
【凡例】 選択肢 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

◇ 自分には、よいところがあると思いますか

【小学校】



【中学校】



◇ 自分でやると決めたことは、やり遂げるようになっていますか

【小学校】

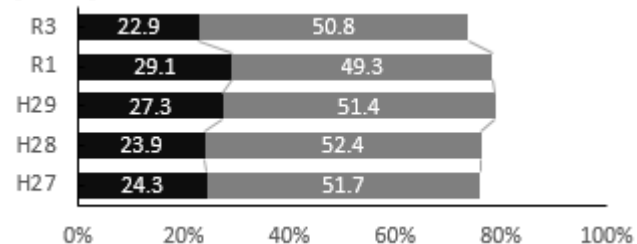


【中学校】

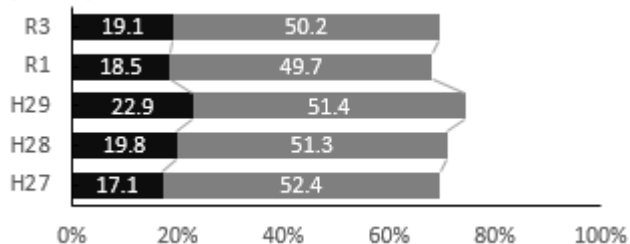


◇ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

【小学校】

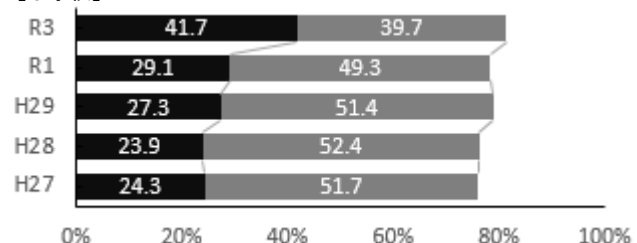


【中学校】

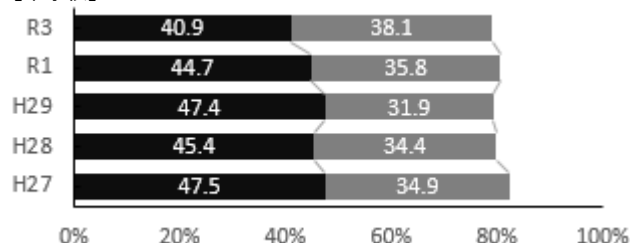


◇ 学校に行くのは楽しいと思いますか

【小学校】



【中学校】



2(8) 主体的・対話的で深い学びの視点から

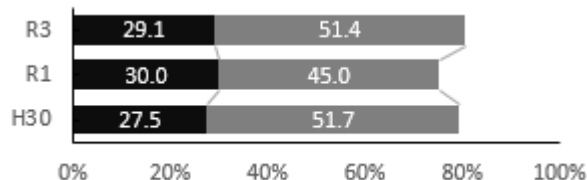
<令和元年度と令和3年度の数值から>

- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした割合は、児童で約80%、生徒で約85%であり、この質問に肯定的な回答をした児童生徒ほど各教科の平均正答率が高い傾向が見られた。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」との質問に肯定的な回答をした割合は、児童で約80%、生徒で約75%であり、特に生徒で増加している。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に肯定的な回答をした割合は、児童で約80%、生徒で約75%であった。
- ・「授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか」との質問に肯定的な回答をした割合は、児童で約85%、生徒で約75%であった。

【凡例】 選択肢 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

◇（小学5年生・中学1・2年生）のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

【小学校】

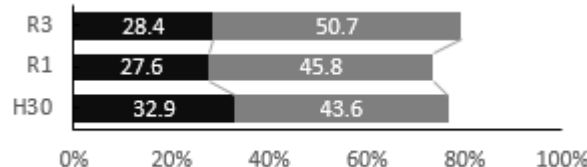


【中学校】

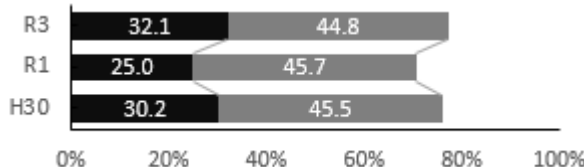


◇（小学5年生・中学1・2年生）のときに受けた授業では、学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

【小学校】

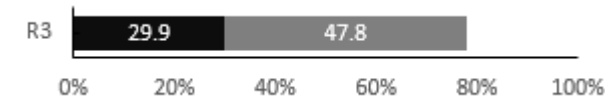


【中学校】

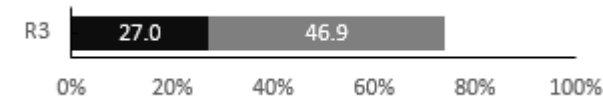


◇（小学5年生・中学1・2年生）のときに受けた授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

【小学校】

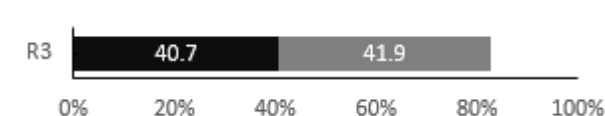


【中学校】



◇（小学5年生・中学1・2年生）のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと思いますか

【小学校】



【中学校】

